

第4回
加賀市都市計画マスタープラン
及び加賀市立地適正化計画
策定委員会

令和4年12月26日

加賀市



【目次】

I. 都市計画マスタープラン（地域別構想）の改定の概要

1. 各地域が抱える課題（地域別懇談会の意見等より） P4～10
2. 各地域の将来都市像 P11
3. 各地域のまちづくり方針 P12～18

II. 立地適正化計画の改定の概要

1. 計画改定の背景 P20
2. 今後の方向性のまとめ P21
3. 立地適正化計画の基本方針 P22
4. 誘導区域の変更 P23～29
5. 誘導施策の変更 P30
6. 防災指針の追加 P31～36
7. 評価指標の更新 P37

I. 都市計画マスタープラン (地域別構想) の改定の概要

（1）大聖寺地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進をめざし、良好な住環境を保全しつつ、空き地や空き家を活用した、ゆとりある居住空間の創出 ○利便施設の誘導による市街地のコンパクト化
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進と人口流出の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化 ○子どもが学びやすい教育環境の整備
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○国道8号の福井県境側の整備促進、地域拠点から福井県及び国道8号へのアクセス向上 ○(都)大聖寺加賀温泉駅線の整備促進 ○公共下水道の未整備区域(大聖寺地区)の解消と個別処理区域への転換 ○JR北陸本線の維持 ○公共交通の利便性向上
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○大聖寺川の水質改善と河川景観の保全 ○鹿島の森や塩屋海岸の海浜植物群などの自然環境の保全と活用
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○大聖寺山ノ下寺院群や江沼神社長流亭、大聖寺の旧城下町などの歴史文化資産の保全と活用 ○北前船主が建てた学校などの、歴史的まちなみを保全する居住環境整備
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○職住近接で地域環境に適した工場などの企業誘致による雇用の場の確保
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○河川改修などの洪水対策 ○土砂災害対策の推進 ○安全な避難所の確保や避難行動の確認による住民の生命を守る体制の充実 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

（2）山代地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○利便施設の誘導による市街地のコンパクト化 ○空き地・空き家を活用したゆとりある居住空間の創出 ○廃業旅館対策 ○国道8号沿道における魅力ある商業空間の形成 ○市街地周辺における開発の抑制、自然環境や優良農地の保全
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○南加賀道路や(都)山代栗津線の整備促進 ○公共下水道の未整備区域(山代地区)の解消と個別処理対応への転換 ○安全な歩道や自転車走行空間の確保
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○動橋川上流の溪谷や里山、鞍掛山や白山の眺望など景観の保全 ○自然とふれあい楽しむための散策路などの整備や管理の充実
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○狐山古墳や法皇山横穴古墳などの遺跡の保全と散策路など周辺施設の整備 ○総湯を核とした湯の曲輪の活用と景観保全、歴史的情緒溢れる温泉街の再生
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○総湯・古総湯を核とした魅力ある温泉街の整備と温泉産業の振興 ○国道8号沿道の活性化
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○河川改修やため池の適正管理などの洪水対策 ○土砂災害対策の推進 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

（3）片山津地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○利便施設の誘導による市街地のコンパクト化 ○廃業旅館対策 ○片山津IC周辺における新たな工業用地の整備 ○市街地周辺における開発の抑制、自然環境や優良農地の保全
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○(都)合河片山津線の整備促進 ○幹線道路における走行空間の改善と安全対策 ○湖岸の周遊歩道や自転車走行空間の整備促進 ○柴山潟の景観を活かした公園整備 ○柴山潟周辺における駐車スペースの確保 ○公共交通の利便性向上
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○水質浄化やごみ対策などによる柴山潟の環境保全 ○海岸や実盛塚の松枯れ対策や海岸線の有効活用 ○柴山潟や新堀川沿いの道路及び高台からの白山眺望の保全
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○首洗池や実盛塚をはじめとする歴史文化資産の保全と活用 ○宮地廃寺の利活用
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○総湯を核とした魅力ある温泉街の整備と温泉産業の振興 ○工業地の工場立地促進
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○柴山潟周辺の浸水対策 ○津波に対する避難体制 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

（４）動橋地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○空き地・空き家を活用したゆとりある居住空間の創出 ○空き店舗対策 ○市街地周辺における開発の抑制、自然環境や優良農地の保全
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内のイベントスペースの確保 ○南加賀道路の安全性向上 ○JR北陸本線の維持 ○JR動橋駅の駅舎と駅前広場の機能充実 ○安心して遊べる防災機能を有した広場や公園の整備
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○矢田野台地の茶畑や銀杏畑、平野部の優良農地などの保全 ○動橋川の水辺、白山の眺望など自然景観の保全 ○市街地や沿道の緑化推進
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○ぐず焼き祭りなどの民俗文化の継承 ○分校古墳群などの遺跡の保全と活用
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○住環境及び自然環境に配慮した工業の振興 ○国道8号沿道の活性化
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○河川改修などの洪水対策 ○安全な避難所の確保や避難行動の確認による住民の生命を守る体制の充実 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

（5）作見地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の商業集積や公共公益施設の立地促進 ○市の中心地としての賑わいや交流・産業の拠点の形成 ○駅北地区の適切な土地利用推進
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○現状の人口の維持 ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○駅南の交通量増加への対応 ○加賀市中央公園の施設の充実 ○公共下水道の未整備区域の解消 ○JR北陸本線の維持 ○街路樹の更新などによる歩道凸凹の改善
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○無電柱化等による景観整備や白山をはじめとした山並みの眺望景観保全
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○富塚丸山古墳や山田光教寺跡などの遺跡の保全と市内周遊観光への活用
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○駅南における商業機能の集積 ○若者や観光客向けの施設整備
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害対策の推進 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策 ○浸水エリアやため池決壊の防災対策の推進

（6）橋立地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

分類	地域の課題
土地利用	○北前船主の里の歴史的まちなみの保全・活用
人口	○定住のための空き家・空き地の確保、人口の確保によるコミュニティの維持 ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	○橋立漁港の維持管理 ○橋立自然公園の利活用と施設の充実 ○生活道路の部分改良 ○サイクリングロードの適切な維持管理 ○きめ細やかで効率の良い公共交通の運行
自然	○松林や丘陵地及び里山の自然環境の保全・再生・活用 ○海岸線や田園及び白山などの眺望景観の保全 ○海岸浸食対策
歴史・文化	○橋立における無電柱化や建物の修景 ○片野鴨池や鏡の池など地域資源の保全と継承
産業	○漁業振興のための漁港整備 ○地域内における店舗立地
災害・防災・防犯	○漁港周辺における津波対策 ○片野海岸における高潮・高波・津波対策 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策 ○災害時に確実に利用できる避難所の確保と機能充実 ○高齢者に配慮した避難計画の策定

（7）山中地域

○現行から新たに追加された課題を赤字で追記。

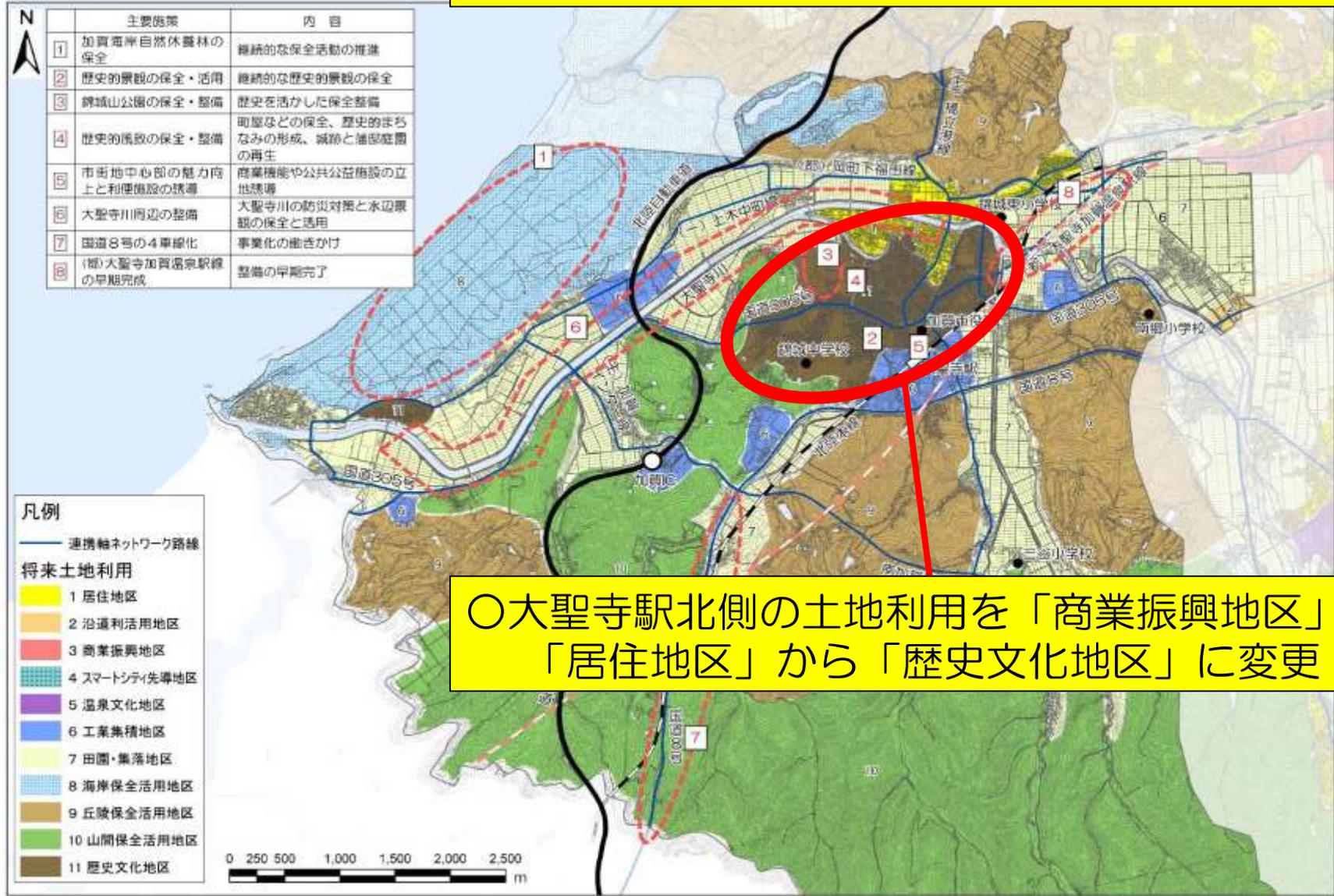
分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉街のまちなみ景観形成と鶴仙溪などの周辺景観の保全・活用 ○空き店舗などの有効活用 ○廃業旅館対策
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進と人口流出の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○(都)温泉中央南線の整備促進 ○公共下水道の未整備区域(河南地区)の解消と個別処理対応への転換 ○まちなかの駐車場の確保 ○細街路の拡幅や隅切りなどの安全な街路網の確保
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○山中・大日山県立自然園や県民の森などの豊かな自然の保全と活用 ○鶴仙溪などの水辺空間の活用 ○山村集落とその背後の山林の保全
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉文化資源の発掘と活用によるまちの魅力向上 ○九谷磁器窯跡と周辺地域の保存・整備 ○東谷山村集落の伝統的建造物の保存
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある温泉街の整備、温泉産業の振興 ○漆器産業の振興、山中漆器を活用したまちづくり
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害対策の推進 ○除雪体制の強化や消融雪装置の充実による雪に強い地域づくり ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策 ○災害時の拠点となる施設や広場の確保

○各地域が抱える課題を踏まえ、将来都市像を見直し。
(赤字は現行からの変更箇所)

	大聖寺地域	山代地域	片山津地域	動橋地域	作見地域	橋立地域	山中地域
将来都市像	城下町の歴史と文化が薫る、住みよい賑わいのあるコンパクトなまち	温泉と歴史文化資産を活かした、趣のあるコンパクトなまち	温泉と柴山潟と歴史文化資産の恵みを活かしたコンパクトなまち	産業と文化資産や動橋川の自然を活かしたコンパクトなまち	新しい価値を創造する、人が集い行き交う加賀温泉郷の玄関口	北前船の里の歴史と豊かな自然を活かしたまち	温泉や伝統産業を活かし豊かな自然と共存する、情緒あるコンパクトなまち
方針	<ul style="list-style-type: none"> ○城下町の歴史と文化の活用と継承 ○便利で住みやすい市街地の形成及び集落の活性化とコミュニティの維持 ○災害に強い市街地の形成と避難計画の充実 ○豊かな自然を守り活かすまちづくり ○道路や公園等の都市基盤整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○滞在型の温泉観光と人々の暮らしが融合した魅力あるまちづくり ○郊外集落の活性化とコミュニティの維持 ○歴史文化資産を活かしたまちづくり ○自然資源の保全と活用 ○都市基盤の整備と幹線道路沿いの沿道サービス機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある温泉地づくりと活力ある商店街の形成 ○郊外集落の活性化とコミュニティの維持 ○柴山潟の自然等と共生する魅力ある地域づくり ○インターチェンジや幹線道路沿道の工場立地 ○公共交通の利便性向上と都市基盤の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○職住が近接した利便性の高い市街地の形成 ○郊外集落の活性化とコミュニティの維持 ○地域の文化や資源を活用したまちづくり ○美しく快適な景観の創出 ○動橋川の自然保全と防災対策および避難計画の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○加賀温泉郷の玄関口としての都市機能の誘導・集積による便利で賑わいある都市空間づくり ○駅前空間における良好な景観の形成 ○地域南部における新たな都市機能の創出 ○集落や住宅地の居住環境とコミュニティの維持 ○都市基盤の整備と幹線道路沿いの沿道サービス機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○北前船の歴史・文化の伝承と活用 ○定住促進とコミュニティの維持 ○越前加賀海岸国定公園などの自然保全 ○漁港や海産物を活用した賑わいある港町の形成 ○安心して生活できるまちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○情緒ある温泉街の形成 ○漆器産業の振興 ○郊外集落の活性化とコミュニティの維持 ○地域住民と協働で行う安心して暮らせるまちづくりの推進 ○道路や公園等の整備と活用

(1) 大聖寺地域

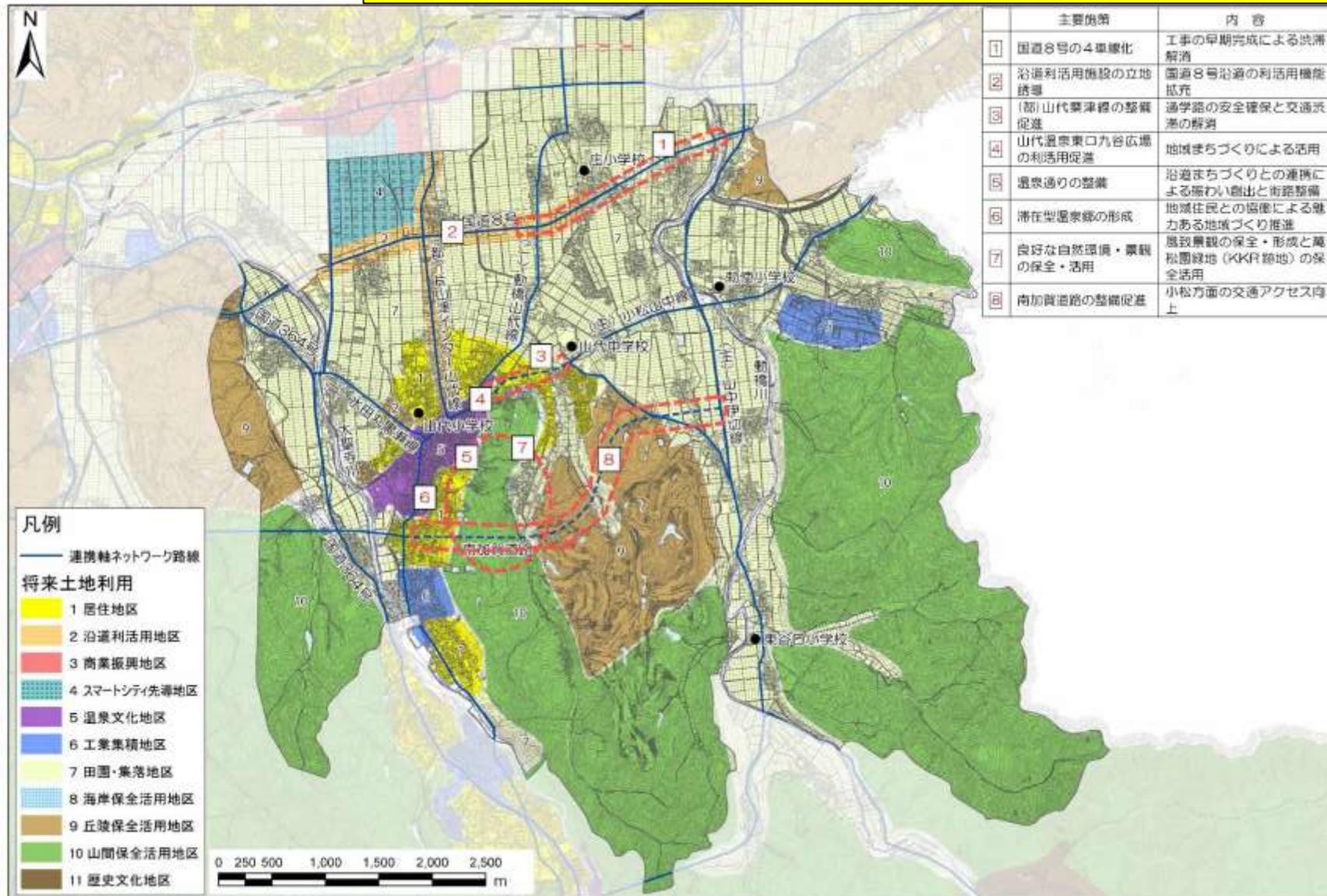
○主要施策として「大聖寺川周辺の整備」を追記。



○大聖寺駅北側の土地利用を「商業振興地区」「居住地区」から「歴史文化地区」に変更

(2) 山代地域

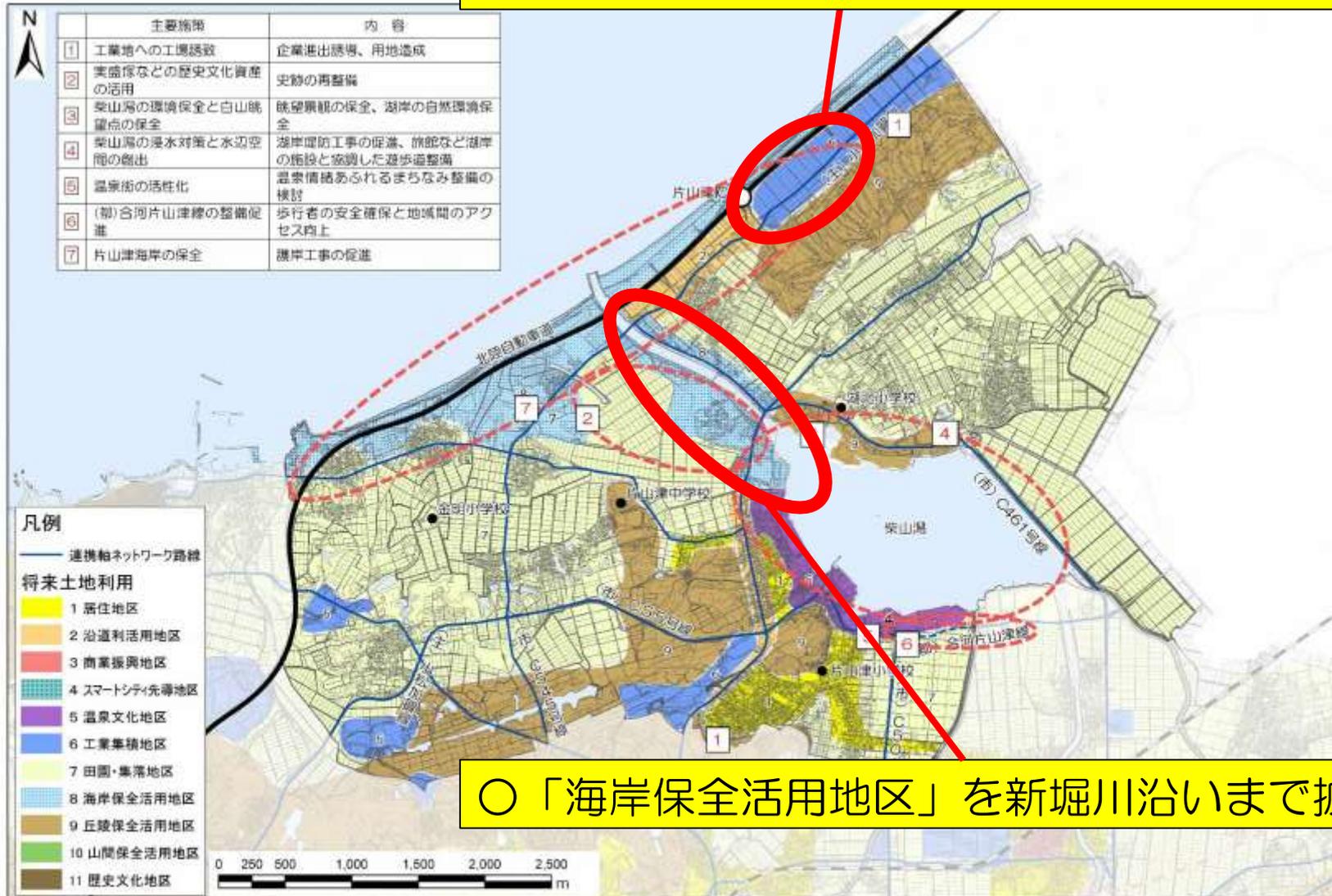
○土地利用の変更は行わず、これまでの施策を継続



(3) 片山津地域

○「工業集積地区」を片山津ICまで拡大。

○「海岸保全活用地区」を新堀川沿いまで拡大。



(4) 動橋地域

○主要施策として「美しいまちなみの形成」を追記。

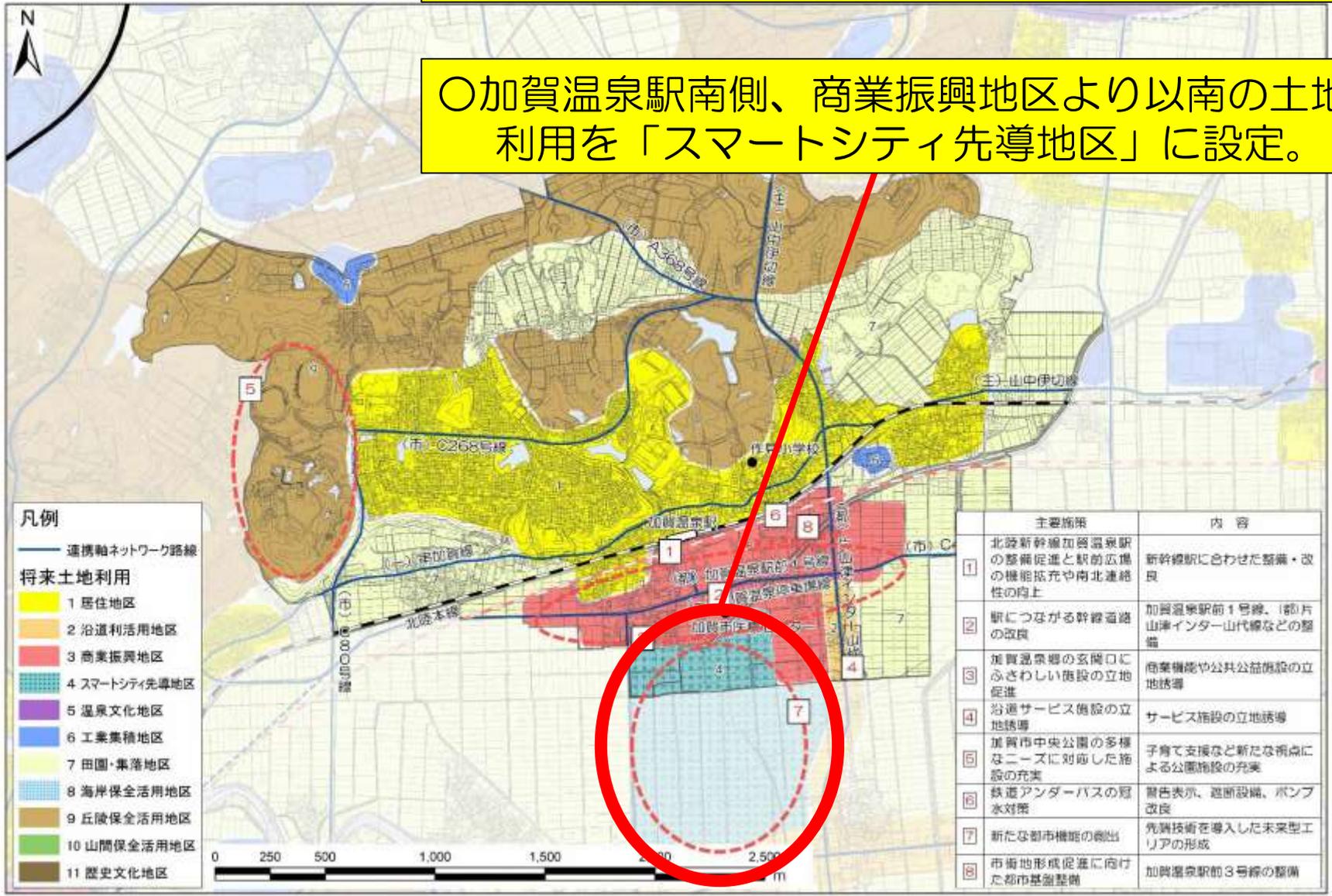


○動橋駅南側の土地利用を「商業振興地区」から「居住地区」に変更。

(5) 作見地域

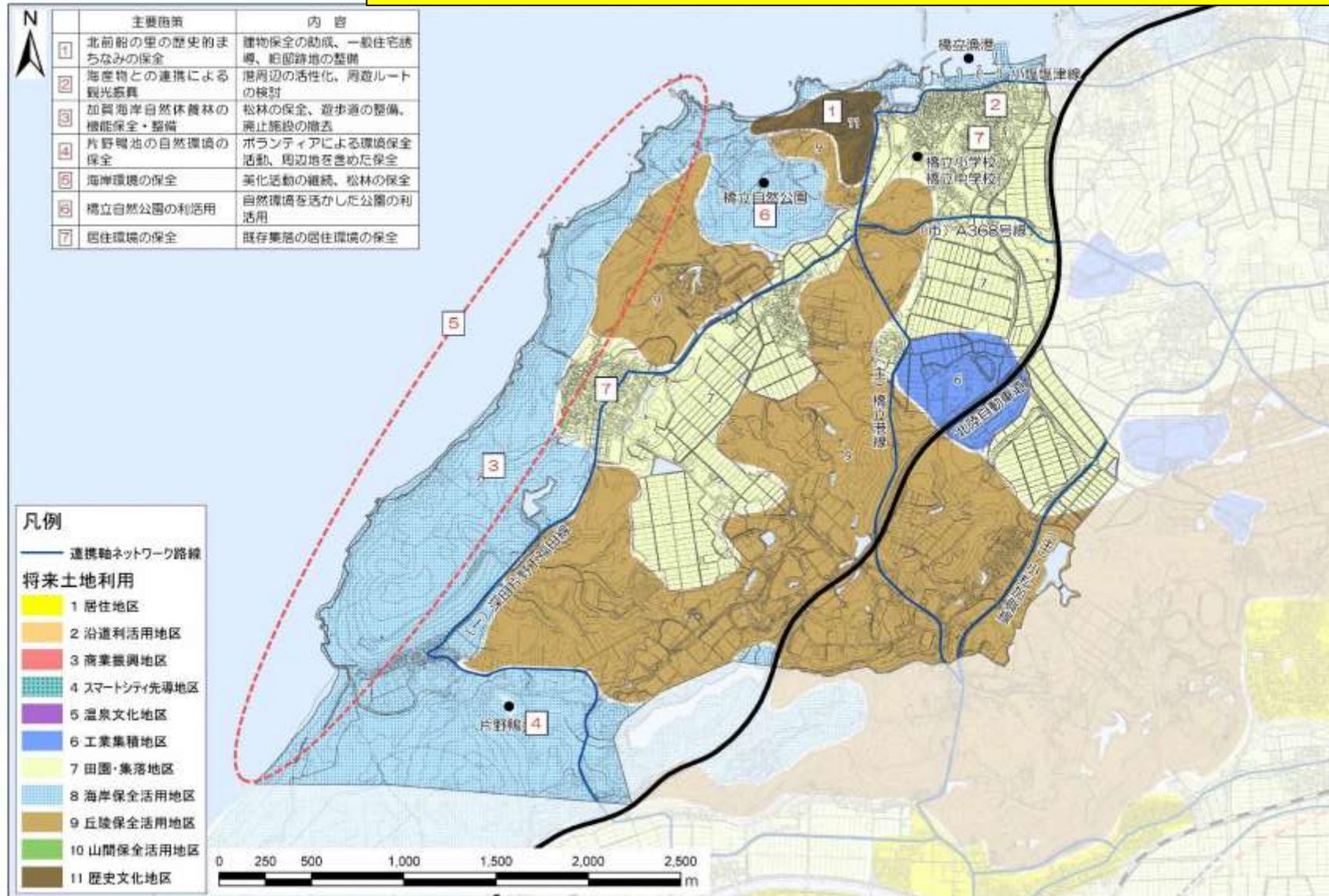
○主要施策として「新たな都市機能の創出」を追記。

○加賀温泉駅南側、商業振興地区より以南の土地利用を「スマートシティ先導地区」に設定。



(6) 橋立地域

○土地利用の変更は行わず、これまでの施策を継続



(7) 山中地域

○主要施策として「集落の活性化とコミュニティの維持」を追記



Ⅱ. 立地適正化計画の改定の概要

○今回変更となった背景についての内容を追記。

(1) 立地適正化計画改定の背景

加賀市では、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業や国道8号の4車線化拡幅事業など交通インフラ整備が進められていますが、近年の人口減少や少子高齢化社会、全国的に多発・激甚化する自然災害の発生など、私たちの生活を取り巻く環境は急速に変化しています。これらの都市課題に対応し、「スマートシティ加賀」の実現に向けた、効果的な都市づくりを進めるため、本市の特性に応じたコンパクトシティの形成を目的に、都市計画マスタープランとともに立地適正化計画を改定します。

○スマートシティに関する内容を追記。

自動車に頼らない、公共交通が充実した便利なまちにする
人口が多く集まることで、安定したバス路線の運行などにより、将来的に公共交通を維持することができ、さらに都市全体のスマートシティ化による効率化を図ることにより、過度に自動車に頼らずに生活ができる、利便性の高いまちにすることができます。

■都市のコンパクト化によって期待できること

- 公共交通の充実、バス路線の維持
- 通勤や通学手段の確保
- 自動車を運転しない高齢者なども生活しやすいまちの形成
- MaaSの導入などによる便利な公共交通サービスの提供

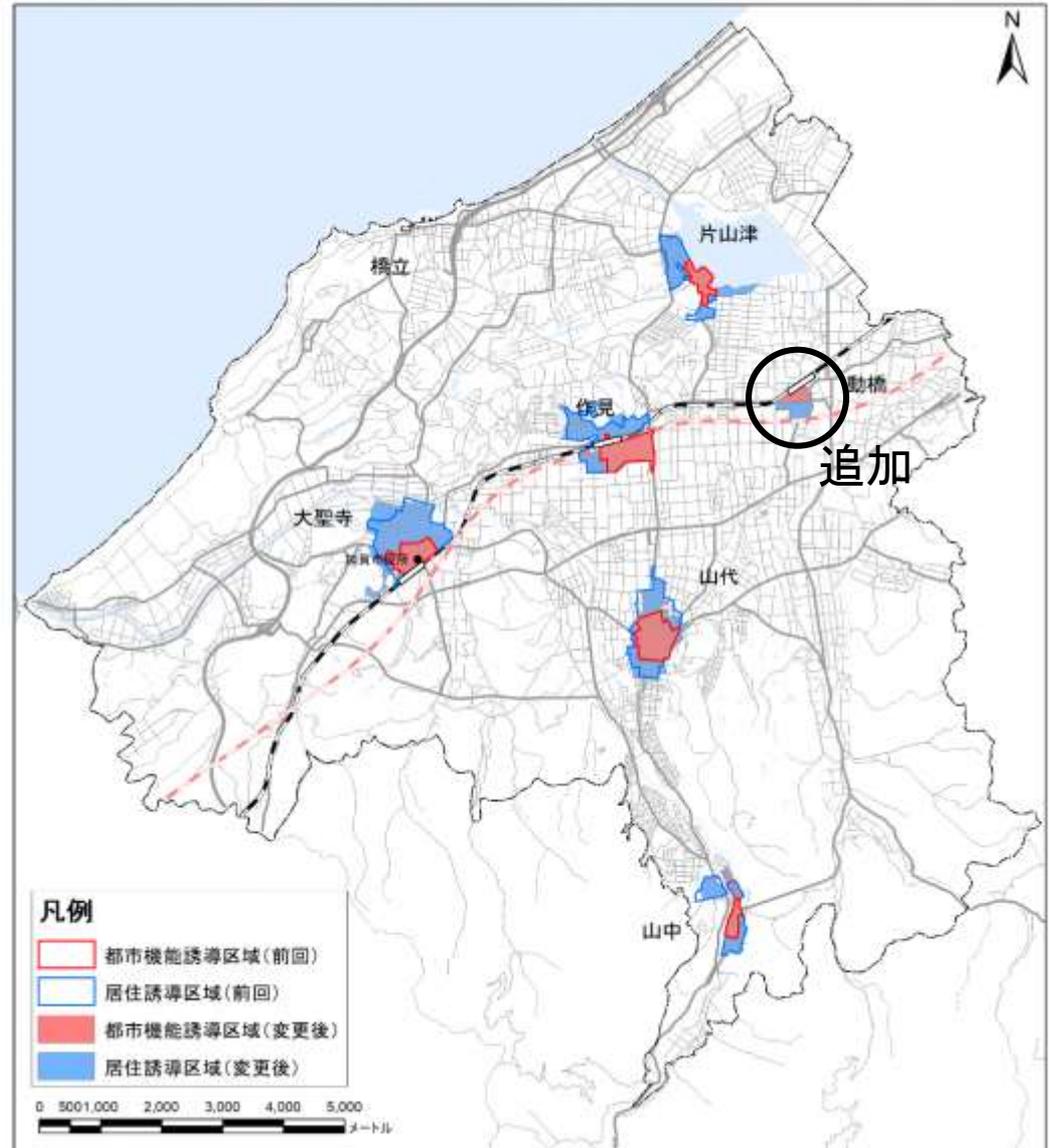
○都市計画マスタープランの改定等に合わせ、立地適正化計画の基本方針を改定。

生活利便施設が集約したエリアに居住を誘導

【基本方針を支える4つの誘導方針】

- 1) 既存市街地と新幹線駅前へ生活利便施設を誘導
 - ・既存の生活利便施設や公共施設が集約したエリアにおいて、都市機能や居住を維持・誘導
 - ・市の中心に位置する北陸新幹線加賀温泉駅前へ、商業施設など既存の生活利便施設を維持・誘導
- 2) デマンド型公共交通の充実による公共交通の利便性向上
 - ・KAGA あんしんネット*を形成する、乗合タクシー「のりあい号」、生活バス路線、周遊観光バス「キャン・バス」の運行を推進
 - ・MaaSの推進による、市内外への様々な移動に対する継ぎ目のない公共交通の連携
- 3) 公共下水道エリアの見直しと下水道の接続促進
 - ・居住を誘導する区域外の公共下水道エリアの見直しと、下水道の接続促進による持続可能な都市運営
- 4) 交流人口、定住人口、関係人口の増加による活力の維持
 - ・北陸新幹線加賀温泉駅の開業を契機とした、温泉地などへの観光客誘致による交流人口の増加
 - ・起業の支援や関係人口の増加による新しい活力の創出と定住人口の確保

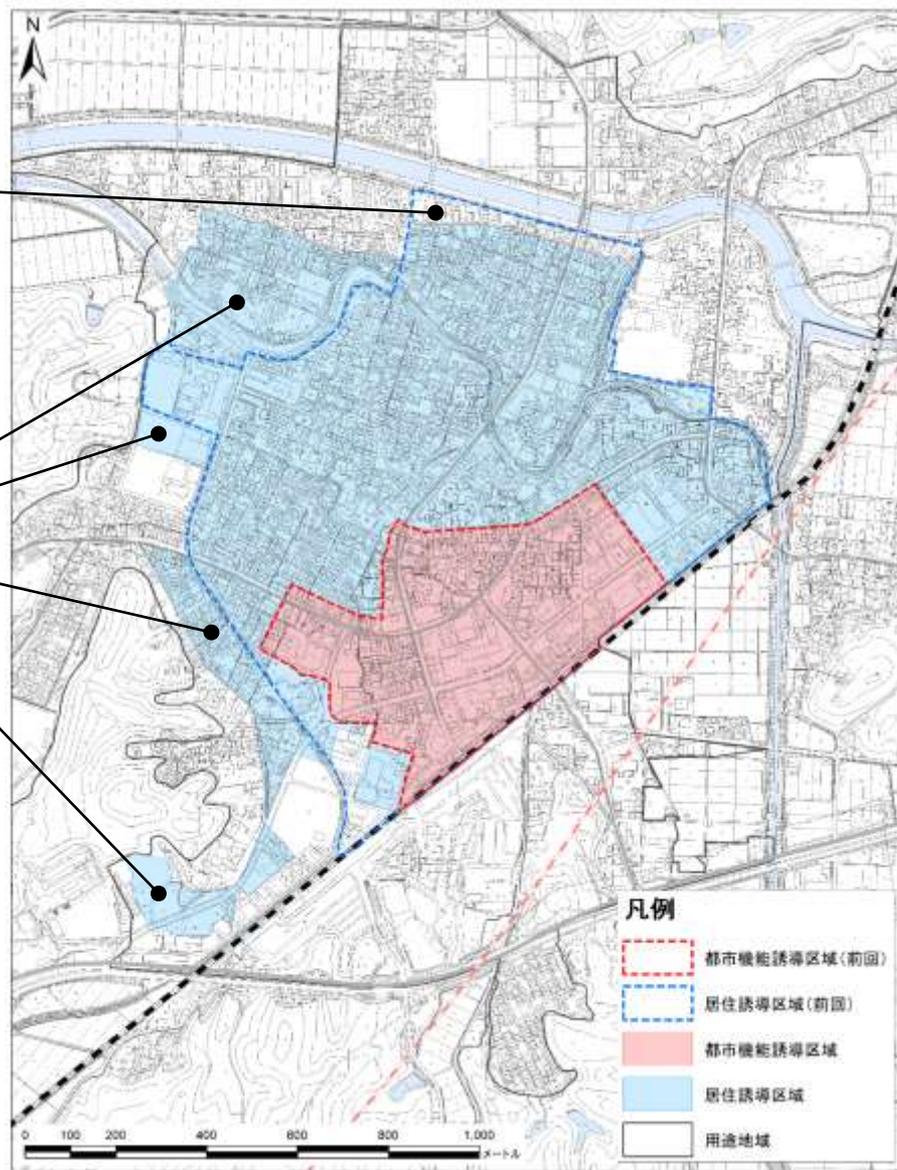
- 新たな誘導区域として、「動橋駅周辺地区」を追加。
- 誘導区域に含めないエリアとして、家屋倒壊等氾濫区域、3.0m以上の浸水エリア、24時間以上の浸水継続時間の箇所を除外。
- また、公共下水道の整備計画がないエリアを除外。



(1) 大聖寺地域

居住誘導区域から除外

居住誘導区域を追加

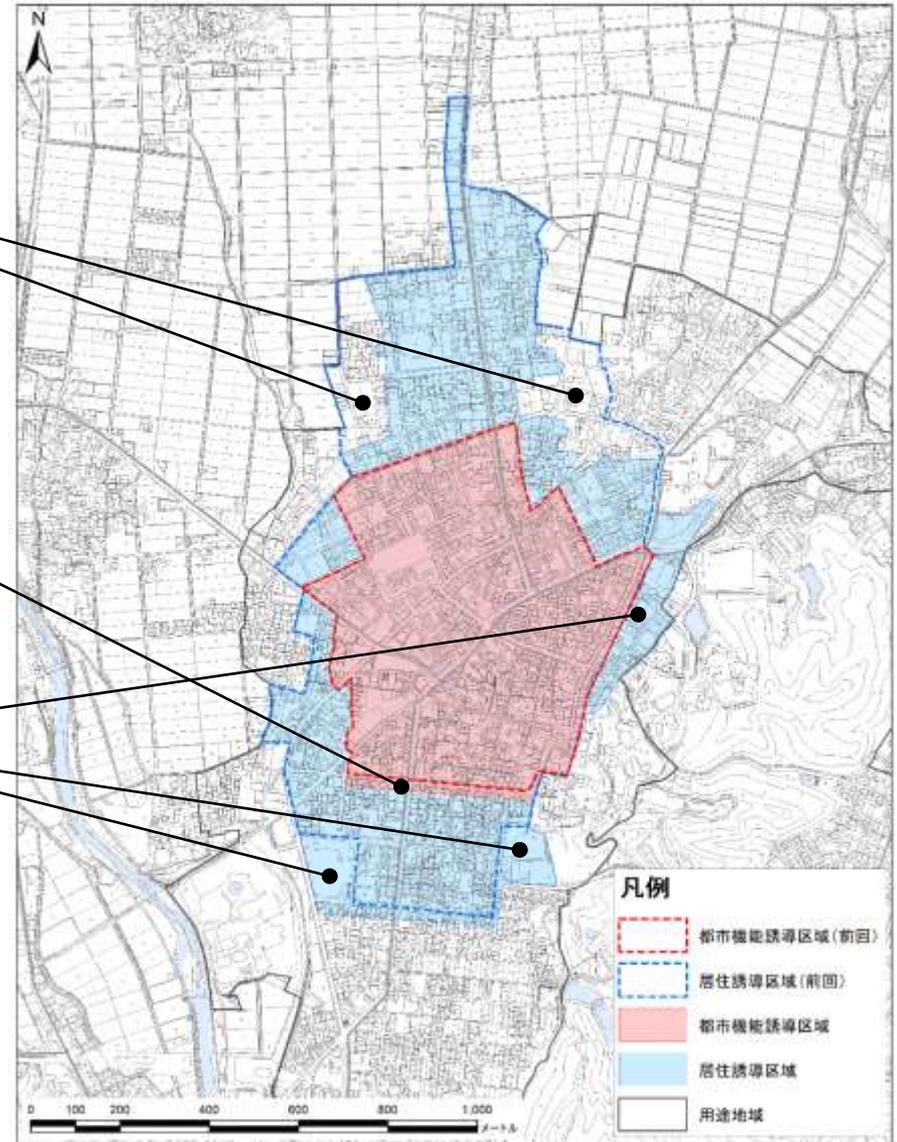


(2) 山代地域

居住誘導区域から除外

都市機能誘導区域を追加

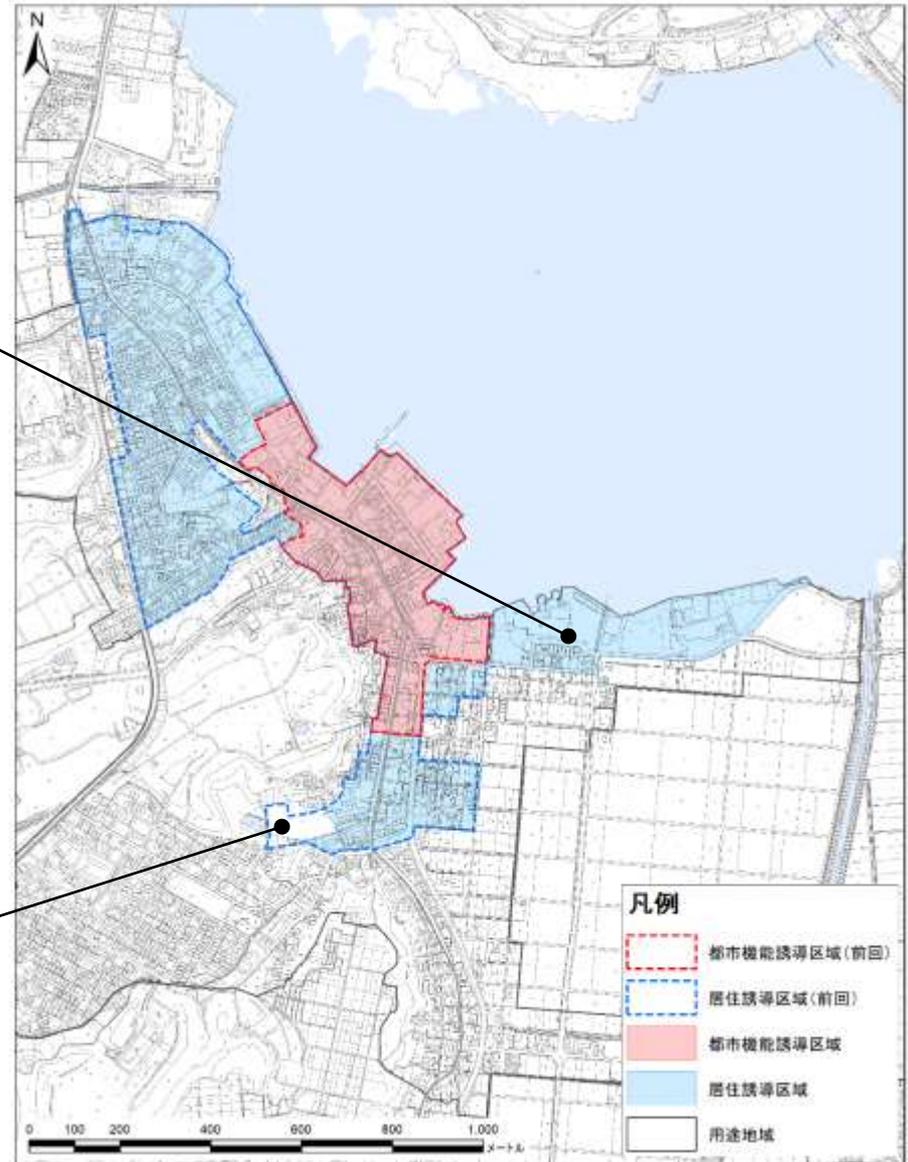
居住誘導区域を追加



(3) 片山津地域

居住誘導区域を追加

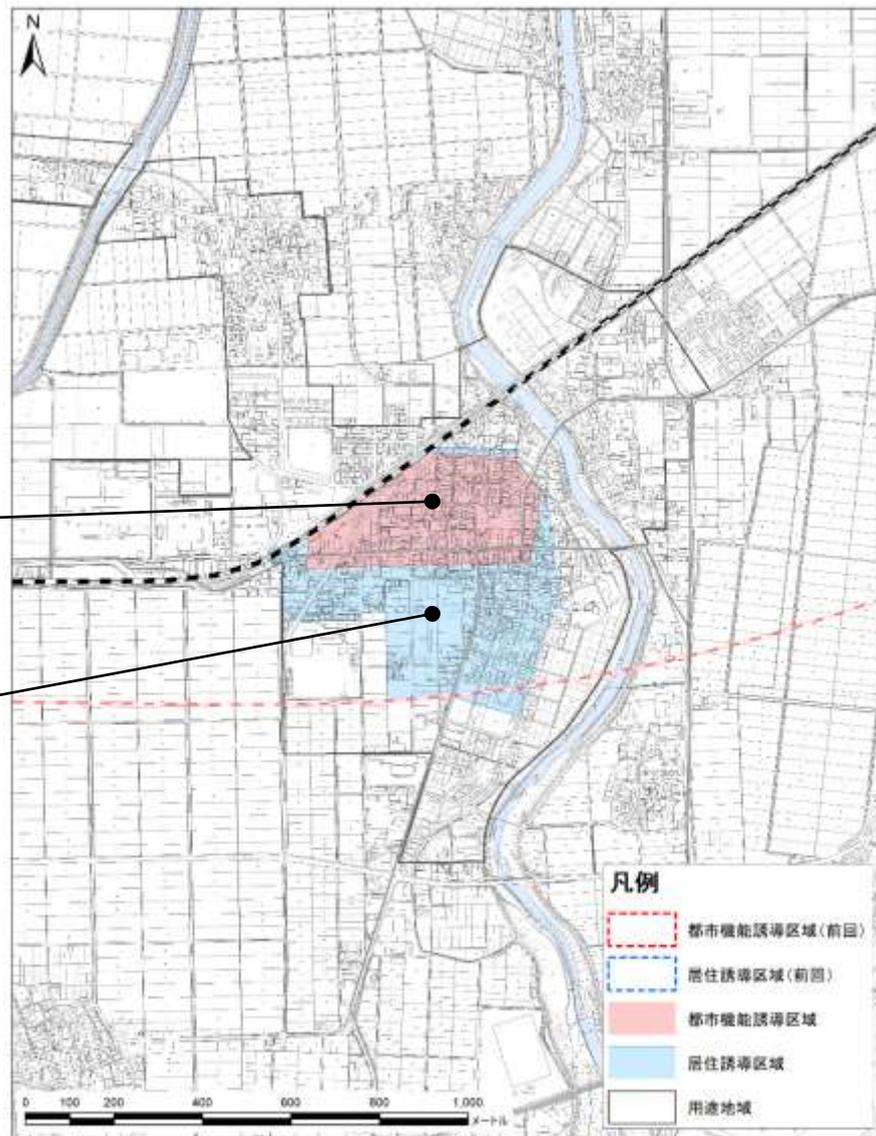
居住誘導区域から除外



(4) 動橋地域

都市機能誘導区域を追加
(新規)

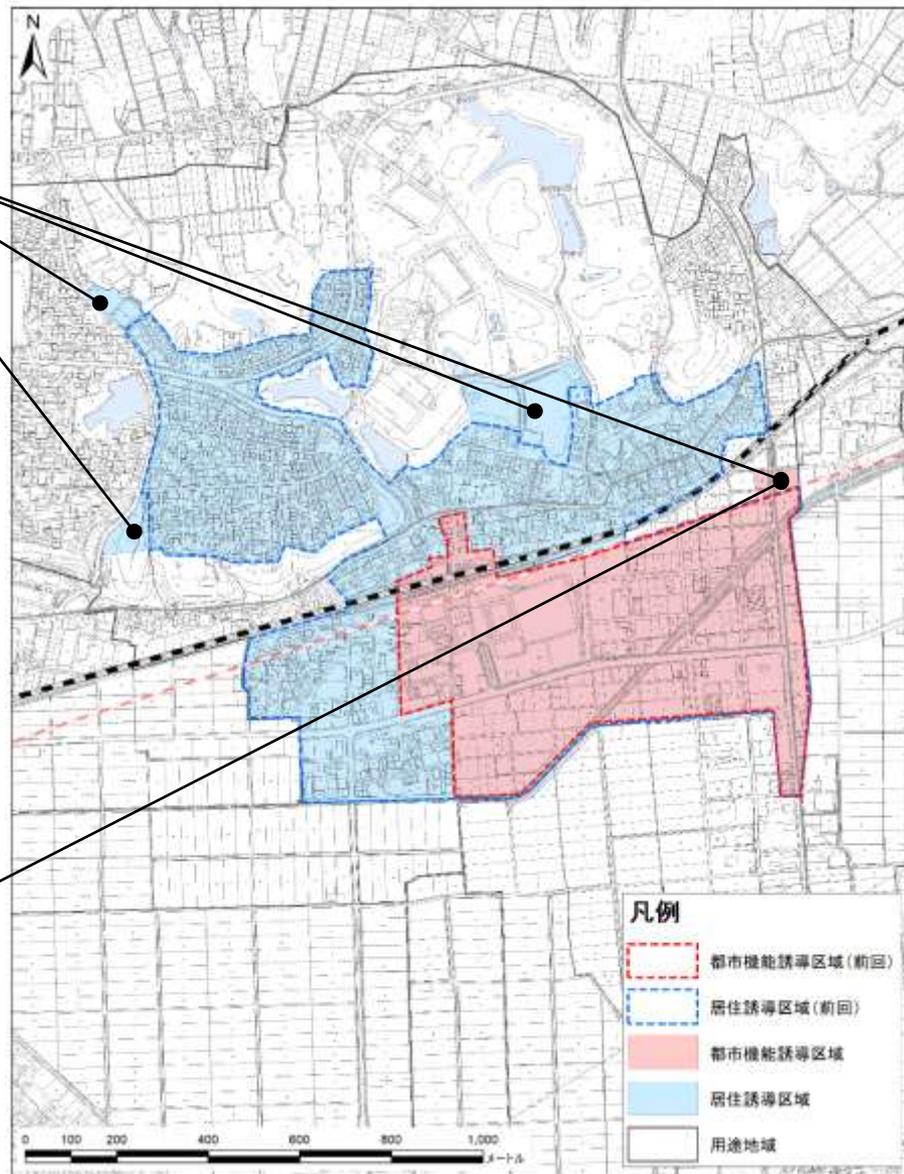
居住誘導区域を追加
(新規)



(5) 作見地域

居住誘導区域を追加

都市機能誘導区域を追加

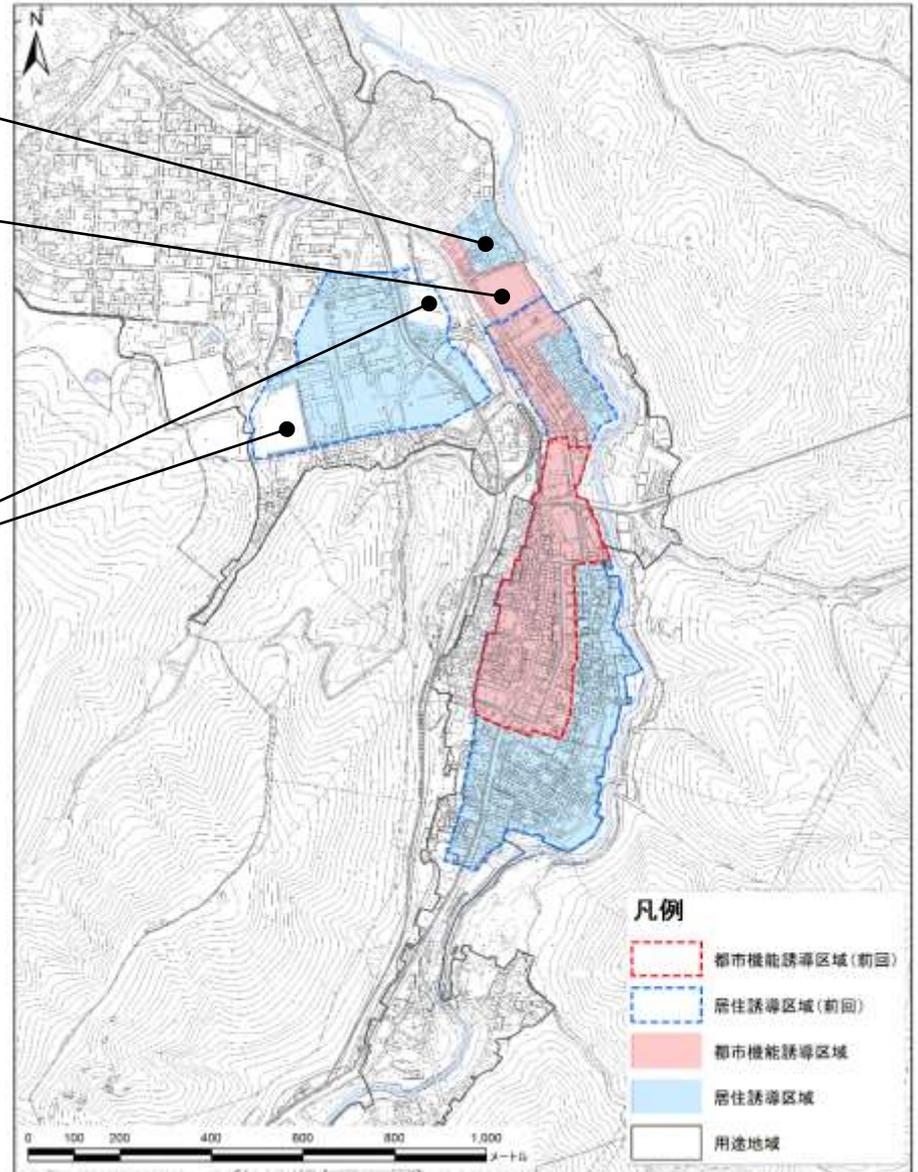


(6) 山中地域

居住誘導区域を追加

都市機能誘導区域を追加

居住誘導区域から除外



○金融機関については近年インターネット等による取り扱いが進むことを鑑み、金融機関を誘導区域から除外。

1. 誘導施設の考え方

市街地が分散している本市では、それぞれの市街地において都市施設の整備や生活利便施設の立地が進められてきました。

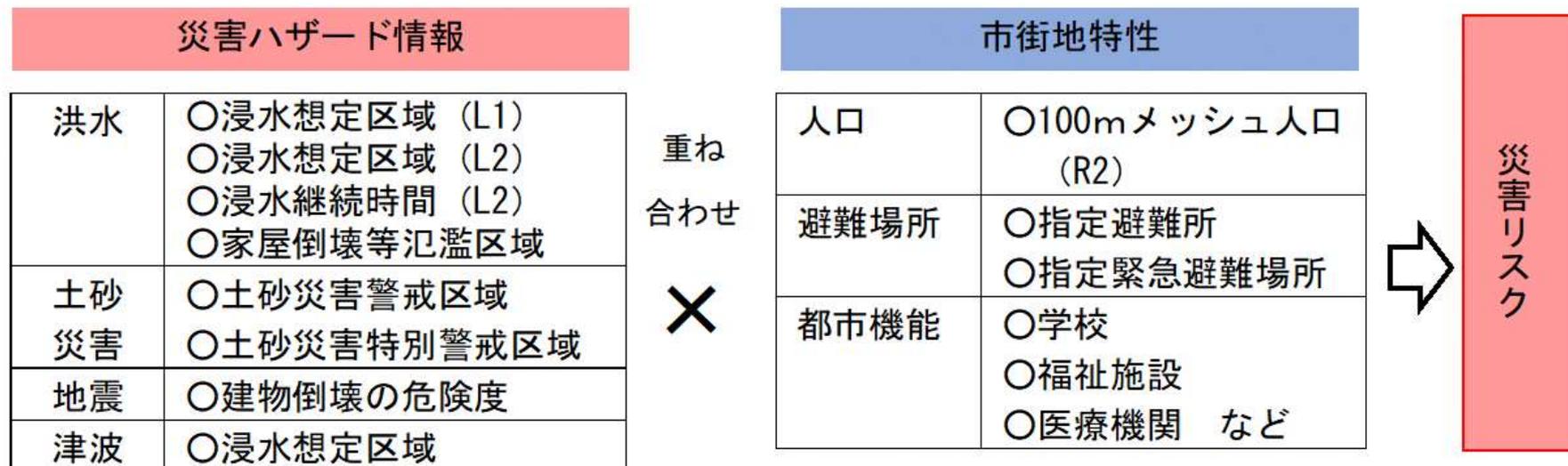
しかし、人口減少や少子高齢化が進む中、これまで整備や立地が進められてきた施設をそのまま維持することは困難です。このため、例えば小学校や保育園などは、統廃合を視野に、スクールバスや通園バス、自家用車による送迎を前提とするほか、老人福祉施設についても、事業所の送迎などを前提として、徒歩圏に限定しないものとしします。

また、近年インターネット等による取り扱いが進む金融機関については、直接店舗で利用する機会の減少が想定されるため、誘導する施設に位置付けないほか、病院については、公共交通ネットワークで利便性を補完するものとしします。

したがって、都市機能誘導区域へ誘導する施設は、自家用車を運転しない人でも住みやすい環境の形成が期待できる商業施設や金融機関のほか、地域の特色を活かした賑わいや活力創出に寄与するコミュニティ施設や公園などを、徒歩圏域の中に定めることとしします。

(1) 災害リスクの状況把握および分析

○本市の市街地（誘導区域）に被害をもたらす可能性がある災害（洪水、土砂災害、地震など）について、想定される災害の範囲や強さ（災害ハザード情報）と、市街地の災害に対する脆弱さ（市街地特性）を比較することにより、災害リスクの分析・評価を実施。



(2) 防災上の課題の抽出・整理

○6つの誘導区域毎に、課題を整理（ハザード別）。

地域	洪水	土砂	雪害	地震	津波
大聖寺	L2では市街地全域が浸水する可能性あり L1では限定的	リスクなし	大雪により市民生活に影響が出る可能性	地震により多くの建物倒壊の可能性がる	リスクなし
山代	リスクなし ※内水被害を懸念する意見あり	誘導区域のごく一部に土砂災害の発生の可能性あり	大雪により市民生活に影響が出る可能性	一定数の倒壊の可能性はあるが、リスクは比較的低い	リスクなし
片山津	柴山湯沿いではL1でも浸水リスクあり	近傍にレッドゾーンが存在するが誘導区域内にはリスクなし	大雪により市民生活に影響が出る可能性	一定数の倒壊の可能性はあるが、リスクは比較的低い	リスクなし
動橋	市街地の全域において浸水リスクが高い	リスクなし	大雪により市民生活に影響が出る可能性	一定数の倒壊の可能性はあるが、リスクは比較的低い	リスクなし
作見	L2では地域南部が浸水する可能性あり L1では限定的	リスクなし	大雪により市民生活に影響が出る可能性	一定数の倒壊の可能性はあるが、リスクは比較的低い	リスクなし
山中	リスクなし	近傍にレッドゾーンが存在するが誘導区域内にはリスクなし	山間部のため被害・影響が大きくなる可能性あり	一定数の倒壊の可能性はあるが、リスクは比較的低い	リスクなし

■：リスク（大）、■：リスク（中）、■：リスク（小）□：リスクなし

(2) 防災上の課題の抽出・整理

○6つの誘導区域毎に、課題を整理（都市構造別）。

地域	人口	避難場所	その他
大聖寺	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内に人口が集中 全てのエリアが浸水想定区域 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内の避難所は全て浸水リスクの可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> 城下町の都市構造が残り、細街路が多く避難行動の制限となる可能性がある
山代	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内を中心に人口が分布 居住誘導区域外にも人口が分布している 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内の避難所に災害リスクはない 	—
片山津	<ul style="list-style-type: none"> 温泉街を中心とした誘導区域内に多くの人口が分布 居住地の一部のエリアが浸水想定区域 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内の避難所の一部に浸水リスクの可能性あり 	—
動橋	<ul style="list-style-type: none"> 動橋川の左岸に人口が多く分布 居住地の全てのエリアが浸水想定区域 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導区域内の避難所は全て浸水リスクの可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> 動橋川で地域が分断されており、避難行動・避難計画の明確化が必要
作見	<ul style="list-style-type: none"> JRの北側（松ヶ丘）に人口が集中 JR南側の居住地（小菅波）の一部が浸水想定区域 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地（JRの北側）の避難所に災害リスクはない 都市機能誘導区域内に避難所がない 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線開業後は多くの観光客や来訪者が訪れることが想定されるため、災害時における迅速な避難行動などが必要となる
山中	<ul style="list-style-type: none"> 総湯を中心としたエリアに人口が多く分布 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所に災害リスクはない 	<ul style="list-style-type: none"> 細街路が多く避難行動の制限となる可能性がある

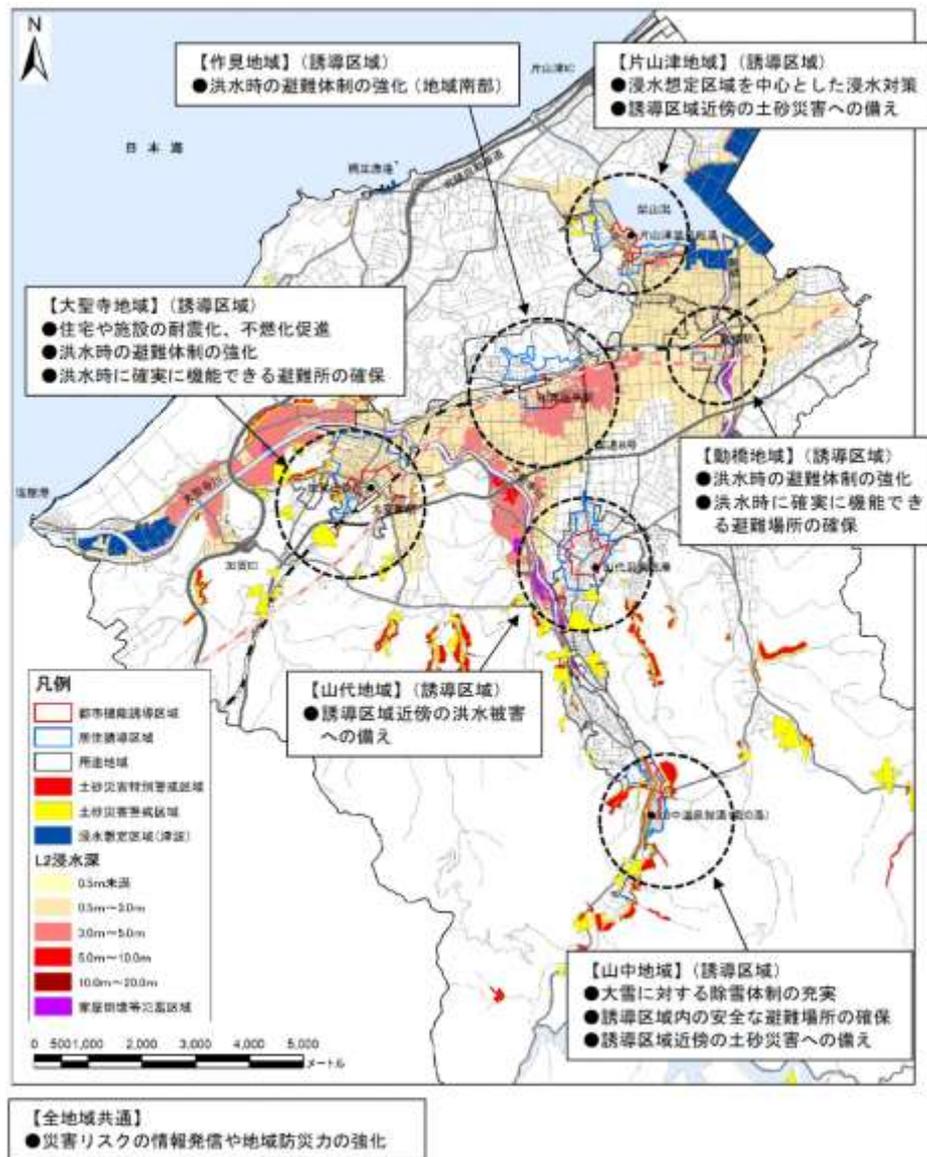
(3) 防災まちづくりの将来像・取組方針

○地域別の取組方針を整理。

地域	取組方針
大聖寺	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の行政機能の中心であり、防災拠点としての機能を確保する必要がある地域であるが、誘導区域の全域が浸水想定エリアであり、また城下町の都市構造を残す市街地は地震時の被害拡大のリスクを有している。 ●地震への備えとして、長期的には住宅や施設の耐震化や延焼防止対策の充実とともに、洪水への備えとして安全な避難場所や避難行動に向けた取り組みを推進することで、災害リスクの低減を図る。
山代	<ul style="list-style-type: none"> ●山代温泉を有する本地域の誘導区域内は比較的災害リスクが低い地域である。 ●一部の土砂災害の可能性について、情報提供の充実などにより、災害リスクの低減を図る。
片山津	<ul style="list-style-type: none"> ●片山津温泉を有する本地域の誘導区域内は、柴山湍や動橋川の影響で浸水リスクが若干存在する。 ●主に洪水への備えとして、迅速な避難行動が可能となるよう情報提供の充実や避難場所の確保を行うことで、災害リスクの低減を図る。
動橋	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の全域が浸水想定エリアであり、洪水のリスクを有している。 ●洪水への備えとして、迅速な避難行動が可能となるよう地域防災力の向上を前提とした避難体制の確保、情報提供の充実や避難場所の確保を行うことで、災害リスクの低減を図る。
作見	<ul style="list-style-type: none"> ●新幹線駅を有する本市の商業や観光などの拠点であり、多くの観光客や買い物客などの来訪が想定される地域であるが、特に駅南の都市機能誘導区域内において浸水リスクを有している。 ●主に洪水への対策として、迅速な避難行動が可能となるよう情報提供の充実や避難場所の確保を行うことで、災害リスクの低減を図る。
山中	<ul style="list-style-type: none"> ●山中温泉を有する本地域の誘導区域内は洪水や土砂災害などの直接的な災害リスクは高くないが、周辺の土砂災害へのリスクや大雪時の複合災害などが懸念される。 ●これらへの備えとして、避難場所の確保や冬期の除雪体制の充実を進めていくことで、災害リスクの低減を図る。

(3) 防災まちづくりの将来像・取組方針

○地域別の取組方針を整理。



(4) 具体的な取組、スケジュール

	洪水	土砂	雪害	地震	具体的施策	実施主体	大聖寺	山代	片山津	動橋	作見	山中	スケジュール
リスク回避	◎	◎			居住誘導区域からの除外	市	◎	○	○	◎	○	○	長期(～R24)
ハード事業	◎				大聖寺川・動橋川の堤防・護岸整備、河道掘削	県・市	◎	-	○	◎	-	-	長期(～R24)
ハード事業	◎				雨水幹線の整備	県・市	○	○	○	○	○	-	長期(～R24)
ハード事業		◎			砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業の推進	県	-	-	○	-	-	○	長期(～R24)
ハード事業		◎			急傾斜地崩壊危険区域の指定	県	-	-	○	-	-	○	中期(～R14)
ハード事業				◎	住宅の耐震化促進	市、市民	◎	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ハード事業	◎	◎		◎	交通ネットワークの強化(橋梁の耐震化、狭あい道路の改良)	県・市	◎	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ハード事業				◎	公共施設の耐震化、長寿命化の推進	市	◎	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎				災害情報の把握(水位監視)	県・市	◎	○	○	◎	○	-	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎		◎	ハザードマップ、防災ハンドブック(防災先生)による啓発	市	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	住民等への情報伝達体制の強化	市	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	地域の防災リーダーの育成	市、市民	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	防災士の育成、消防団員の確保	市、市民	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業			◎		除雪機械の更新と除雪オペレーターの人材育成	市、市民	○	○	○	○	○	◎	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	事業継続計画の策定促進	市、企業	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	マイタイムラインの策定	市、市民	○	○	○	○	○	○	短期(～R9)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	自主防災組織による防災訓練の実施	市民	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎	◎	◎	◎	地区防災計画の策定	市民	○	○	○	○	○	○	長期(～R24)
ソフト事業	◎				デジタルツインを用いた3Dマップを活用した浸水想定の研究	市	◎	○	○	◎	○	-	短期(～R9)
ソフト事業	◎	◎			誘導区域内における安全な避難所の確保	市	○	○	○	○	◎	◎	短期(～R9)

- 現状に合わせ、指標の目標値を再設定。
- 防災指針に関する指標を追加設定。

	指標名	現況値	目標値 (2025年)	目標値 (2040年)
指標1	居住誘導区域の人口密度	37人/ha	35人/ha	33人/ha
指標2	公共交通の利用者数	455,330人/年	477,000人/年	550,000人/年
指標3	公共下水道の接続率	77.9%	81%	97%
指標4	観光客宿泊数	約76万人/年	225万人/年	240万人/年
指標5	防災士数	331人	522人	564人